

令和7年度 子どもゆめ基金助成事業

「出前で届ける子どものあそび*アート*交流体験 2025」

実績報告書



| | | |
|------------------------|-----------------------|----------------------------------|
| ■ 船橋市薬園台児童ホーム | 7月30日(木) 13:30~15:30 | 君はこのなぞがとけるか? 児童ホームでみんなで探偵遊びをしよう! |
| ■ 佐倉市佐倉老幼の館児童館 | 8月19日(火) 14:00~16:00 | はじけておどろうダンスあそび! |
| ■ 八街市児童館 | 8月20日(水) 14:00~16:00 | こまあそびの出前隊がやってくる! |
| ■ 松戸市野菊野こども館 | 10月19日(月) 13:30~15:30 | 体をつかってワクワクドキドキいっしょにあそぼう! |
| ■ 市川市妙典子ども地域交流館びあばーく妙典 | 11月9日(日) 10:15~12:15 | みんなであそぼう! |



君はこのなぞがとけるか? 児童ホームでみんなで探偵遊びをしよう!



はじけておどろうダンスあそび!



こまあそびの出前隊がやってくる!



体をつかってワクワクドキドキいっしょにあそぼう!



みんなであそぼう!

後援: 千葉県教育委員会



■事業名

「出前で届ける子どものあそび*アート*交流体験 2025」事業



■事業の背景・目的

子どもたちの日常も大きく変わり、様々な体験がなくなり、また人との交流の場も少なくなっていました。目に見えないところで子どもの心身の成長に影響があることが昨年、あそび体験を実施したことで実感しました。子どもにとってかせない体験・交流の機会を少しでも取り戻していく必要があると考え、広いところでもいっさり、体を動かし、心身を発散し遊ぶ芸術文化体験をプロの芸術家が出前で届け、身近で日頃から親しんでいる児童館、児童センター、あそびの広場等で安全にあそびを伴う体験・交流活動を行います。

<実施プログラム> ☆一日 1企画 (2時間)

①こま・けん玉あそび「こまあそびの出前隊がやってくる」

仲間とお互いに教えあいながら、自分のスキルアップやチャレンジしていくことで自信につなげる。



★指導者：コマのたけちゃん(武田勉)

全日本こま選手権 4 連覇。TV 出演や指導者としても活躍 中。こまやけんだまなど、様々な伝承あそびを 組み込んだパフォーマンスを披露。子どもたちに「生きる力」をと、活躍中。

★ワークショップの内容

①たけちゃんの演技披露・けん玉の紹介、コマの紹介。玉すだれの演技など。コマの伝統の技やスゴ技を披露 ②みんなでコマ回しに挑戦。様々なコマ・中国ゴマ・皿回し

②表現遊び「君はこのナゾがとけるか？ 探偵あそび」

自由に自分を開放して、仲間とコミュニケーションをとりながらあそび・交流を楽しむ



★指導者：大森靖枝(うさぎの森企画主宰)

表現遊びファシリテーター児童演劇演出 芸術教育学校客員研究員 保育園、幼稚園で子ども対象・児童館で親子対象・小学校において子ども対象のワークショップを行う。

★ワークショップの内容

①からだほぐし・「たんでいってなにをする人？」 ・たんでい紹介 ②色々あるよ！「目、耳、頭の修行」 ③たんでいは体をきたえる ④ひょうげんあそび ⑤部屋の中を探そう ⑥暗号で探し物を見つける 修了証渡し

③ダンス「はじめておどろう!ダンスあそび」

仲間と話し合いながらダンスを作り上げていき、表現する楽しさをえて交流する。

★指導者：安西真幸

ダンスのジャンルにとらわれず、色々な表現を求めて活動中。小学生から社会人のダンスを指導しながら、小学校への訪問事業、知的障がい者、子育て中のママさんなど、いろいろな方を対象にして定期的にワークショップをおこなう。

★ワークショップの内容

準備体操 おどるポンポコリン ポケダンス 強風オールバック ジャンボリ ーミッキー



④表現あそび「体をつかっていっしょにあそぼう！」

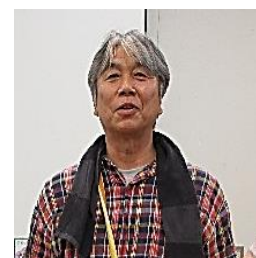
からだをつかって あそぶ つくる 挑戦する 表現する を楽しむ。

★指導者：大潤弘幸

脚本家 演出家 パフォーマー 表現遊び・昔遊び講師。劇団風の子で 20 年役者、脚本演出に携わる。近年は様々な地域で子どもたちと遊びをベースに芝居創りや表現活動を展開する。

★ワークショップの内容

色オニ なりきりかくれんぼ 震源地は誰だ？ 新聞バゴーン 紙コップけん玉づくり 魔改造けん玉 こままわし



■実施体制

指導者 18 人(延べ 25 人) : 武田勉 大森靖枝 安西真幸 大潤弘幸 宇野京子 岡田泰子 大森智恵子
 大塚るい 買場都明 清水百世 白鳥みゆき 鈴木佳子 椎名好子 滝口淳子
 棚田純子 中村雪江 中村幸恵 綿貫のぼら

コーディネーター 8 人(延べ 10 人) : 宇野京子 岡田泰子 買場都明 椎名好子 滝口淳子 中村雪江
 中村幸恵 清水百世

■事業実績

| | 施設名 プログラム名 | 日 時 | 指導者 | 参加者数(人) | | | | |
|---|---|--------------------------|---|---------|-----|------------|------------|-----|
| | | | | 子ども | 保護者 | 施設ス タッフ | ボラン ティア | 総計 |
| 1 | 船橋市薬園台 児童ホーム 君はこのなぞがとける か? 児童ホームでみ んなで探偵遊びをしよう! | 7月30日(木) 13:30~15:30 | 大森靖枝 岡田泰子 清水百世 中村雪江 大塚るい | 26 | 1 | 1 | 1 | 29 |
| 2 | 佐倉市佐倉老幼の館 児童館 はじめておどろうダンスあそび! | 8月19日(火) 14:00~16:00 | 安西真幸 綿貫のぼら 鈴木佳子 滝口淳子 椎名好子 | 9 | 5 | 5 | 0 | 19 |
| 3 | 八街市児童館 こまあそびの出前隊が やってくる! | 8月20日(水) 14:00~16:00 | 武田勉 (こまのたけ ちゃん) 鈴木佳子 白鳥みゆき 滝口淳子 椎名好子 | 21 | 8 | 6 | 0 | 35 |
| 4 | 松戸市野菊野こども館 体をつかってワクワク ドキドキいっしょにあ そぼう! | 10月19日(月) 13:30~15:30 | 大潤弘幸 買場都明 棚田純子 中村幸恵 中村雪江 | 23 | 15 | 5 | 0 | 43 |
| 5 | 市川市妙典子ども地域 交流館ぴあぱーく妙典 みんなであそぼう! | 11月9日(日) 10:15~12:15 | 大潤弘幸 大森智恵子 椎名好子 宇野京子 買場都明 | 26 | 12 | 9 | 1 | 48 |
| | 5市5か所 | 10時間 | 25人 | 105 | 41 | 26 | 2 | 174 |

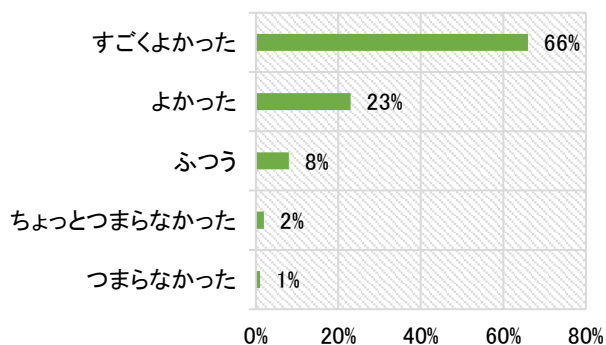
※子どもの内訳 105 人 (幼児 18 人 小学生 84 人 中学生 2 人 高校生 1 人)

※従事者 45 人(指導者 : 延べ 25 人 協力者(コーディネーター) : 延べ 20 人)

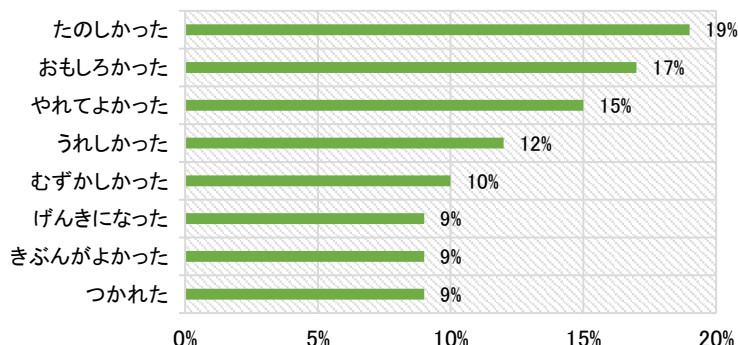




◆ワークショップ後の気持ちはどうでしたか？ 子ども92人（%）



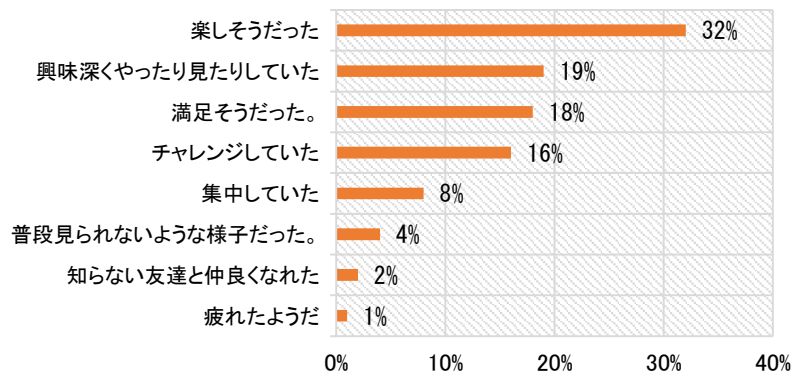
◆今日ワークはいかがでしたか？複数回答 子ども451枚（%）



子どもたちの自由記述

- * うさぎたんてい事務所の人がたのしくて、げんきだったです。またさんかしたいな！ ・また「君はこのなぜをとけるのか？」をやってください。 ・なぜを自分とみんなでとけた！と思えてうれしかった。
- * つかれたけれどたのしかったです。 ・なかよくなれた。あとつかれた。まあちゃんともなかよくなれた。 ・ダンスがとてもむずかしかったこともあったけど、とてもたのしかったです。
- * 中国ごまができるようになった。けん玉のコツをつかんだ。 ・きょうな体験が出来て、もっとこれからもやりたい。 ・たけちゃんきょうはありがとう。むずかしい皿まわしができた。こま回しもできるようになったよ。
- * おおまくんがおもしろくてみんなにやさしくて、自分たちの思っていることを、おおまくんが思ってた。 ・けんだまをつくったのがたのしかった。こまをまわせたのが、うれしかった。またここにきたいな。

◆ワークを体験した子どもたちの様子はどうでしたか？ 大人複数回答136人（%）



分析

ワーク実施後の子どもの気持ちは「ふつう～すごくよかった」97%、「たのしかった やれてよかった 元気になった等」積極的な気持ちが81%むずかしかった・つかれた」は19%で、できるまで時間をかけて技に挑戦し、できた時には「つかれた～」という達成感や満足感と共にある気持ち。

今年度は保護者の参加が多く、保護者・施設スタッフ等による子どもたちの様子について、7項目すべてに回答が寄せられ、自由記述に記載された。直接目で見て感じたりリアルな子どもの様子・姿の評価は、客観性と真実性があり、アートを活用した遊び体験の効果の高さがみてとれる。

参加した大人（保護者）の自由記述

- * 沢山体を動かして皆が笑顔ですごした事に感謝します。 ・初めての人と会えて緊張していたようだけど、人と人触れ合い知り合えてよい時間でした。 ・初めて会う子たちがすぐになじんで楽しそうに参加していた。
- * 子どもたちのいろいろな反応の言葉に思わず苦笑していた。楽しい時間をいっしょに過ごせてうれしかった。 ・色々チャレンジでき興味が深まった様子だった。
- * 新聞紙や紙コップなど、身近なものでこんなに楽しめるとは驚きだった。 ・大笑いしながら楽しんだ。 ・生き生きと活動をしていて、楽しく貴重な時間だった。 ・体と頭を使って遊んでいた。 ・コマを回すのが苦手だったのですが、おおまくんのおかげで、チャレンジしてできるようになって、とてもうれしかった。
- * 2時間たっぷり、かけ足にならずに、一つ一つのあそびを十分楽しむことができてよかった。 ・こま遊びは中々家ではやることのないですが、日本の伝統あそびとして経験できてよかった。また参加したい!!

参加した大人（施設職員・スタッフ）の自由記述

- * 配慮を必要とする子たちへの的確な対応や、保護者も巻き込んでいくやり方など、いろいろ参考になった。
 - ・皆で大笑いし、集団で走ったり、かくれたり、つかまえられたり、思いっきり遊び、作り、チャレンジしていく、本当に楽しい1日だった。
 - ・親子で笑い合いリフレッシュでき、親も子どもの気持ちを知れるのでよい。
 - ・幼児連れの親子さんがすごく楽しくノリノリで参加してくれてよかった。
- * 遊びを通して人がつながっていく様子が見れて良かった。
- ・子ども達をすぐに遊びの世界に導く話し方や動き等、とても多くを学ばせて頂いた。出てきた様々な回答を丁寧に簡潔にひろっていくことにより、子どもの参加意識がより高まると感じた。
- ・あそびのアイデアや、言葉がけのタイミング等学ぶことが多かった。
- ・色オニで他の子の洋服をさわったりすることで、一気に距離が近くなった気がした。
- ・はじめは2時間長いと思っていたが、テンポよく進み、最期まで集中できた。こどもたちにも職員にも、楽しく有意義な時間だった！
- * コマまわしでは、最初難しくても「まわしたい」「手にのせたい」等それぞれにチャレンジしている姿が見られ、大人も、まわせるまでチャレンジした。
- ・子どもたち同士で教え合ったり、子どもが大人に教える姿もみられ、楽しさや嬉しさを共有することもできた。楽しい経験がまた次のやってみたいにつながるという。



成果

- ①アンケートによるワーク実施後の子どもの気持ちは「ふつう～すごくよかった」97%、「たのしかった やれてよかった 元気になった等」積極的な気持ちが81%だった。「むずかしかった・つかれた」は19%あるが、消極的姿勢ではなく、できるまで時間をかけて技の獲得に挑戦し、できた時の達成感や満足感や喜びが伴った「むずかしかった～。つかれた～」という言葉だ。結果、積極的な気持ちはほぼ100%だと言える。
- ②子どもの自由記述では、楽しさ・面白さに加え、初めて出会った子ども同士・パフォーマーとも仲良くなれた、なぞを自分とみんなでとけた、ダンスがとてもむずかしかったけどとてもたのしかった、中国ごまができるようになった、けん玉のコツをつかんだ等、仲間といっしょに難しいことにチャレンジして獲得できた技への満足度や達成感を記述している。また、参加した保護者が子どもの表情をみて「遊ぶ」「体験する」ことの大事さを、認識できたとの記述があった。
- ③子ども同士、大人といっしょにコミュニケーションをとって遊んだ体験は、ほぼ全員の子どもたちから「またやりたい!」「またきてほしい!」「もっとやりたい!」という気持ちを引き出した。遊ぶことで自信が持て、遊びが生きていく力になっている。
- ④子どもが主体的に遊ぶ・遊べるようになることを目指した。プロによる子どもへのアプローチの仕方が絶妙で、どの指導者もいっしょに遊んで伝えていたことは、「すごい!」「いいね!」「おもしろい!」と子どもの発した声を否定せず、すべて肯定的に捉える言葉や褒める言葉だった。自分の存在を認められた子どもたちは、大人を信頼し、安心して自分を出すことができ、いつのまにかどの子もイキイキと一体感のあるワークが実現した。
- ⑤実施施設との理念の共有、施設周辺の小学校等子どもの施設の理解を得て、チラシ配布等の連携がすすんだ。体を使った主体的な子どもの遊びや体験の機会が少ないことが、子ども館・児童館の共通の課題であった。その課題解決を共に果たそうとしている当 NPO への信頼も深まっている。

課題

- ①子どもが主体的に身体を使って遊ぶ体験の意味することや、子どもの遊ぶ権利の保障の重要性を、子育て世代にも改めて伝えていかなければならない使命を感じている。連携をさらに強化すること。
- ②こども大綱に掲げられた「こどもまんなか社会」、将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）の社会の実現への共感と、今後、千葉県内市町村の「こども計画」に NPO としても主体的に発信し貢献していくこと。

募集チラシ



「出前で行ける子どものあそび+アート+交流体験 2025」

ただ今 子ども探偵募集中！ 君はこのなぞがとけるか？

児童ホームでみんなで探偵遊びをしよう！

日時：7月30日(水) 13:30~15:30
会場：薬丸台児童ホーム 体育室
〒274-0077 千葉県船橋市薬丸台 5-18-1

指導者：大森 晴枝 岡田 泰子
中村 雪江 清水 百世 大塚 るい

募集人数：30人 参加費：無料
対象：小学生

主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
〒260-0031 千葉県中央新千葉2-17-6 杉ヶ丘ビル新千葉 102号
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263
E-mail: kids@chiba-jktl.jp URL: http://chiba-jktl.jp/

「出前で行ける子どものあそび+アート+交流体験 2025」

はじけておどろろダンスあそび！

プログラム：ダンスあそび
日にち：2025年8月19日(火)
時間：14:00~16:00 (受付 13:40から)
場所：佐倉市 佐倉老幼の館 児童館
〒215-0034 佐倉市舟形町 229-2

指導者：安西真希・鈴木桂子・滝口洋子・緒賀のぼら・権名好子

対象：小学生 保護者
参加費：無料
募集人数：30人

主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
〒260-0031 千葉県中央新千葉2-17-6 杉ヶ丘ビル新千葉 102号
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba-jktl.jp

「出前で行ける子どものあそび+アート+交流体験 2025」

こまあそびの出前隊がやってくる！

プログラム：こまあそびに挑戦
日にち：2025年8月20日(水)
時間：14:00~16:00 (受付 13:45から)
場所：八街市児童館「ひまわりの家」
〒289-0115 八街市八街1-13 電話未定

指導者：二宮あけみ・山本あゆみ・高橋かほり・権名好子
対象：4歳~小学生 保護者
参加費：無料
募集人数：30人

主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
〒260-0031 千葉県中央新千葉2-17-6 杉ヶ丘ビル新千葉 102号
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba-jktl.jp

「出前で行ける子どものあそび+アート+交流体験 2025」

マツカサ料理 体をつかっていっしょにあそぼう！

プログラム：コミュニケーション遊び
日にち：2025年10月18日(日)
時間：13:30~15:30 (受付 13:15から)
場所：松戸市 野蒜野こども館多目的室
〒270-2240 松戸市新野蒜町

指導者：大塚 晴枝・菅原 明子・棚田 洋子
中村 雪江・中村 佳子
対象：小学生 保護者
参加費：無料
募集人数：30人

主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
〒260-0031 千葉県中央新千葉2-17-6 杉ヶ丘ビル新千葉 102号
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba-jktl.jp

「出前で行ける子どものあそび+アート+交流体験 2025」

みんなであそぼう！

プログラム：コミュニケーションあそび
日にち：2025年11月9日(日) 10:15~12:15 (受付開始 10:00)
時間：10:15~12:15 (受付開始 10:00)
場所：市川市 妙典こども地域交流館
「びあばく〜 妙典 COCO」 びあぼー
〒272-0103 市川市本行徳 1266 番地 1

指導者：大塚 晴枝 大塚 佳子 権名好子 菅原 明子 棚田 洋子
対象：小学生 (年中から一緒に参加可能。その場合は保護者同席)
人数：30人
日時：2025年11月9日(日) 10:15~12:15 (受付開始 10:00)
場所：市川市 妙典こども地域交流館
「びあばく〜 妙典 COCO」 びあぼー
〒272-0103 市川市本行徳 1266 番地 1
持ち物：飲み物 動きやすい服装 上履き
申込方法：電話・FAX・Web フォーム・直接申し込み
事前申し込み制 (先着順)
TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263
主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

名たんてい修了書

「名たんてい修了証」

～薬丸台児童ホーム 名たんていさんへ～

よくぞ 任務をぶじに
かんりょうした！ すごい！

これからも たくさんのひらめきで
分らないことを
どんどんしらべていくなぞ！

たのんだぞ！
新高根児童ホーム 名たんてい！

2025.7.30 うさぎ探偵事務所
大森所長 謹言

「子どもは未来 KIDS」

児童ホームでみんなで探偵遊びをしよう！
君はこのなぞがとけるか？

日にち：2025年7月30日(木)
場所：船橋市薬丸台児童ホーム
主催：(特) 子ども劇場千葉県センター

実施施設：船橋市薬田台児童ホーム

プログラム名：「君はこのなぞがとけるか？ 児童ホームでみんなで探偵遊びをしよう！」



実施場所：船橋市薬田台児童ホーム 体育室

実施日時：2025年 7月 30日（金） 13：30～ 15：30

参加者数：総数 29 人

①子ども 26 人（1年生 5 人 2年生 7 人 3年生 5 人 4年生 4 人 5年生 3 人 6年生 2 人）

②大人 3 人（父親 1 人 児童ホーム職員 1 人 ボランティア 1 人）

指導者 5 人（大森靖枝 岡田泰子 清水百世 中村雪江 大塚るい）

協力者・コーディネーター 2 人（岡田泰子 清水百世）

ワークショップの内容

①導入の手あそび②パンダのあいさつ③探偵登場（探偵とは何をする人？質問）④探偵修行・目の修行 耳の修行⑤昭和の紙芝居でクイズ⑥たこのボールくぐり⑦勇気の修行⑧なぞとき⑨名たんてい修了書の授与

当日の様子

6 小学校区からの参加者で、必ずしも知り合いではない子どもたちが、おーちゃんの奏でる音やトークに引きつけられ、「たたく」「たたかない」の手あそびから集中していた。狂言まわし役の小さなパンダのぬいぐるみとのトークで「息を吸って、吸って、吸って・・・」ひっくりかえって🤪にゲラゲラ大笑い。ジャーン！と探偵が登場した。「探偵は何をする人？」とおーちゃん。中・高学年が「事件を調べる」「悪をあばく！」「地球温暖化をとめる！」など答える。「目」「耳」「頭」の修行に入った。「ペン隠し」「ロパクの言葉をあてる」「耳を澄ませて聞こえる音を言い合う」「あつまれ修行」（組になって木、お花、花火を表現する）を楽しそうに、相談しながらやっていた。床に落とされた破れた紙を皆でさがす➡数字の帯に繋ぐ➡時計発見➡数字に対応する言葉をつなぐと「くろいかばんをさがせ」になって、大興奮。体育室を走り回り、ネット裏からかばんをみつけておお喜び！体育室の外にも子どもたちの笑い声や、修行に夢中の大きな声が響いていた。

子どもの声

- ・たのしかった 21 人 おもしろかった 21 人 やれてよかった 16 人と、積極的に参加し満足した。
- ・おーちゃんとの会話の楽しさ、謎解きができてうれしかった。また来てほしいは多数あり。
- ・またやってください。船橋に来る時はもっとむずかしくしてほしい。

施設関係者からの声

当日キャンセルなどあり、人数が少なくなりましたが、事務室にいても聞こえる子どもの声で、盛り上がっているのがわかり、安心いたしました。アンケートを拝見すると子どもたちも楽しめたようで良かったですし、皆様のおかげです。

（コーディネーター：岡田泰子 清水百世）

実施施設：佐倉市佐倉老幼の館児童館

プログラム名：「はじけておどろうダンスあそび！」



実施場所：佐倉市中央公民館 ホール

実施日時：2025年8月19日(火) 14:00~16:00

参加者数：総数 19人

①子ども 9人 (小1…3人 小2…1人 小3…2人 小4…2人 小5…1人)

②大人 10人 (保護者 5人 施設職員・保育士 5人)

指導者 5人 (安西真幸 綿貫のぼら 鈴木佳子 滝口淳子 椎名好子)

協力者・コーディネーター 2人 (滝口淳子 椎名好子)

ワークショップの内容

- ・自己紹介 (名前 好きなおかしは?)
- ・準備体操 (両足びよんびよん、両手両足は後ろで走る!、ストレッチ体操)
- ・ちびまるこちゃんの歌でダンス!
- ・スーパーマリオではじけて遊ぼう!
- ・「強風オールバック」でダンス
- ・「ジャンボリーミッキイ」でダンス!

当日の様子

自己紹介、好きなおかしは? みんなちがうお菓子に「うん、うん、それ好き!」。準備体操は広いホールを一杯に使い走る、赤ちゃんを抱っこしたパパも軽やかに走る。「みんな体柔らかいね～」とまあちゃんもびっくりするくらい平気で体が動く。床に寝て両手両足を上げる「飛行機」のポーズ、「いてて・・・」と声が聞こえる。「あ～暑い、暑い!」水分補給。「初めて出会った人とペアを組んでね」と言われてちょっと恥ずかしそうに周りを見る「勇氣出してね!」とまあちゃんちゃんからかかるとリズムにのってダンス、ダンス。嬉しくてたまらない、びよんびよんはねる。ぐーちょき、ぱーも跳びながらダンスになった。「スーパーマリオ」でゲームのキャラクターを次々に大きな声で言うとキャラクターごとに決めポーズをしてくれる。ゴムを椅子に着け、縄跳びのように「楽勝!楽勝!」みんな軽やかに飛ぶ。高さも位置もバラバラのフラフープをくぐったり、ジャンプしたり、好きなように挑戦。真剣な表情、でも笑顔で集中力は途絶えない。大きい大好きなお兄ちゃんと子どもたち9人が一緒に楽しく遊んでいる様に見える。「強風オールバック」の曲をかけると直ぐにのって髪の毛を後ろへやる仕草!「いいですね」と振り付けと一緒に考え、あっという間に完成!ジャンボリーミッキイのダンス、疲れを知らず元気に踊る。子どもたちの希望で水鬼ごっこ。最後までパワフルで初めて出会った子どもたち同士には見えないくらい仲良くなった。

子どもの声

でんしゃがたのしかった。あとマリオもたのしかった。ぜんぶたのしかった/いろんなポーズやダンスができたのしかったです。/また来ているんなポーズやダンスがしたいです。/ゲームがたのしかった。先生のものまねまねがへたくそだった。

施設関係者からの声

まあちゃんが子どもの心をつかむのがすごい。子どものエネルギーすごい、広いのに狭く感じた。まあちゃんにぎゅーとあつまっていくのがすごい/子どもたちがどんどん仲良くなっていくのがすごかった/2時間の集中力もったのがすごかった。今日、参加しなかった子は残念!/「勇気を出して、新しい子と組もう」という言葉がとてもよかった

(コーディネーター 滝口淳子 椎名好子)

実施施設：八街市児童館 ひまわりの家

プログラム名：「こまのあそびの出前隊がやってくる！」



実施場所：八街市児童館 ひまわりの家

実施日時：2025年 8月 20日（水） 14：00～ 16：00

参加者数：総数 35人

①子ども 21人（幼児3人 小学1年1人 小学2年1人 小学3年4人、小学4年2人
小学5年6人 小学6年1人 中学生2人 高校生1人）

②大人 14人（保護者8人 施設職員 6人）

指導者5人（武田勉 鈴木佳子 白鳥みゆき 滝口淳子 椎名好子）

協力者・コーディネーター2人（椎名好子 滝口淳子）

ワークショップの内容

①たけちゃんの演技披露

- ・けん玉の紹介、コマの紹介。（日本と世界の違い、多様なコマの紹介）玉すだれの演技など。
- ・コマの伝統の技やスゴ技を披露（扇にのせる、模造刀にのせる、ふうせんを割るなど 光るコマ）

②みんなでコマ回しに挑戦。様々なコマ・中国ゴマ・皿回し・南京玉すだれ、などで遊ぶ。

③たけちゃんの中国ゴマ、どこまで高く上がるか？

当日の様子

はじめにたけちゃんが世界のけん玉、こまを紹介。興味津々、いつもの様子では、なかなか集中できないとのことだったが、にぎやかな子たちもじーっと見入っていた。頭のコマ回しは見事に回って、たけちゃんと余裕のピース！みていた子どもたちはちょっと羨ましそう。皿回しリレー、指名されたメンバーは最初、心配そうにしていたが、だれ一人落とすこともなく、見事つないでいった。終わった人も次の人を笑顔で応援。大拍手！終わった後の笑み、すごい達成感だ。たけちゃんからコマを受け取っていいよ皆でコマ回し、好きな色に並んで取り合うことなくコマを受け取った。説明を待ちきれない得意げに回す子、ヒモがかけられず、たけちゃんにサポートしてもらってみごとに回すことができ、うれしそうな顔、最高！たけちゃんと勝負したい子多数「たけちゃん、挑戦！」の声があがった。頑張っているがどうしても勝てない。あきらめずになんども挑戦！幼児さんは小さなこまに夢中！最後は、館長さんがこの日のために草を刈ってくれた庭に出てたけちゃんが中国ゴマを高くあげてくれた。風が出て、流れて「あ～あ」残念のため息が。最後に高く上がり、たけちゃんのもとに中国ごまが返ってきた。みんなから「すごい、高い」大きな歓声が上がった。

子どもの声

このイベントをたのしすぎて もいっかいやりたいと思った。/たけちゃんきょうは、ありがとうございました。こまができるようになったよ。/いろいろな体験ができてすごく楽しかった！中国ゴマが始めてやったら1回でできたのでうれしかった！

施設関係者からの声

けん玉やこまと言った「遊び」を通してコミュニケーションや非言語コミュニケーションが育つことを改めて実感したひと時でした。子どもたち一人ひとりに声を掛けて技を一瞬で教えその場で出来るようにさせてしまうのには驚きました。子どもたちの「できた」という達成感と褒めていただいた時の嬉しそうな笑顔を見ることができて良かったです。

（コーディネーター 椎名好子 滝口淳子）

実施施設：野菊野こども館

プログラム名：「体をつかってワクワクドキドキいっしょにあそぼう！」



実施場所：野菊野こども館ホール

実施日時：2025年10月19日（金）13:30～15:30

参加者数：総数43人

子ども 23人（幼児11人 小学生12人）

大人 20人（保護者15人 施設スタッフ5人）

指導者5人（大潤弘幸 買場都明 棚田純子 中村幸恵 中村雪江）

協力者・コーディネーター2人（中村幸恵 中村雪江）

ワークショップの内容

・色オニ（色、二色、しましま、みずたま、ふわふわ、など） ・妖怪の住まい探し ・オリジナル座り方ゲーム（こんにやくブルブル、アジのひらきジュッ、お豆腐、おねえさん？エーン、王子様シュッ、等） ・さんぽをうたいながら歩こう（カラス、へび、ブタ、ゴキブリ、500円、等に出会うリアクション） ・ストローでつながる2人（おやこチーム、3人で、） ・なりきりかくれんぼ ・震源地は誰だ？ ・新聞バゴーン ・キャッチボール ・紙コップけん玉づくり ・魔改造けん玉 こままわし

当日の様子

フラットなおおまくんの一挙手一動、一言一言に吸い寄せられて何も始まっていないのに、前にひと固まりになって座っている子どもたちのワイワイケラケラが止まらない。おおまくんは全身でノンバーバルに、アイコンタクトで、心からの大きな笑い声で、ゆっくりとした話し方に、どんなにテンション高くはしゃぐ子も集中して聞き漏らさない。「しわしわと言ったら、おおまくんの手を触りに来た子がいた」と言ってみんなが爆笑。数人のお父さんは、目がにんまり、口元が緩んできて子どもと同じように大潤君から目を離さなくなっている。なりきりかくれんぼは、すごい勢いで「もう1回もう1回」コールがやまないくらい夢中になっていた。

震源地を探せ！では、全員が輪になって、大人も子どもも小さな一人のオニに注目する。オニをやりたい子がハイハイと手が10人以上挙がる。6年生親子をオニにするあたり大潤さんの作戦が光る。新聞ボールを新聞でキャッチし合う「新聞バゴーン」は、新聞になじみのない世代には意外な面白さだったらしく、簡単そうだが続けるのは難しく皆はまっていた。けん玉で6年生のお兄ちゃんがどんどん紙コップを足して魔改造。底を貼り合わせ両方のコップを受けにして「もしかめ」を自慢げに見せてくれた。いつの間にか、こわもてのお父さんがよその子達に教えていたり、夢中になって線香花火の技に挑戦していた。中には、どうしてもうまいかずに腹を立てる子、泣きべその子、心が動く感情を正直に出せる場になっていた。

子どもの声

- ・たのしかった18人 おもしろかった16人 うれしかった12人 やれてよかった12人 げんきがでた10人 きぶんがよかった10人と、子どもの積極性と、実施後のワクワクした満足度が高い。
- ・おおまくんがみんなにやさしくて、バランスよくしつもんしていて良かったです。

施設関係者からの声

- ・みんなを引き込んでいくすすめ方はもちろんのこと、高学年の子どもたちに前もって「この会の成功は君たちにかかっている」と話してくれたこと。又、配慮を必要とする子たちへの的確な対応や、保護者も巻き込んでいくやり方など参考になりました。大笑いし、思いっきり遊び、作り、チャレンジした、本当に楽しい1日でした。（コーディネーター：中村幸恵 中村雪江）

実施施設：妙典こども地域交流館 ぴあぱーく妙典 coco

プログラム名：「みんなであそぼう！」



実施場所： 妙典こども地域交流館 ぴあぱーく妙典 coco ぴあほーる

実施日時： 2025年11月 9日（日） 10：15～ 12：15

参加者数：総数 48人

①子ども 26人（幼児4人 小学生22人）

②大人 22人（保護者12人 施設スタッフ9人 ボランティア1人）

指導者5人（大潤弘幸 大森智恵子 椎名好子 宇野京子 買場都明）

協力者・コーディネーター2人（宇野京子 買場都明）

ワークショップの内容

1. 色鬼：色2色、つるつる、しましま、ふわふわ、水玉、しわしわ、2. オリジナル座り方・三角座り：トンネルピュー！・あぐら：大仏ゴーン・正座：お茶アチ！・横横横座り：人魚オエー・王子様シャキーン 3. さんぼ替え歌；ミミズ、ぶた、へび等 4. 震源地・2人鬼、震源地替え 5. なりきりかくれんぼ 6. 新聞キャッチボール 7. 紙コップけん玉→魔改造 8. こま回し

当日の様子

色鬼が始まると、だんだん声を上げて走り回る。あつたー、ここ、ここと呼び合ったり、発見してにっこりしたり。大人も子どもも一緒になって右往左往。2色だと、床にはいつくばって触っていたり、お母さんがこれこれと他の子ども達にも教えてあげていたり、知らない人に話しかけたり服に触らせてもらう、自分のやりたいペース、たくさんのOKを伝える遊びだった。座り方のオリジナルネーミングでは、人の発想を心から面白いとおおまくんにつられ、子ども達からもっと面白くしたいとロ々に自由な発想が飛び出す。正座、茶道、どうせなら頭にかけてやう、アチー等々。おおまくんの王子様シャキーンのオチに笑い転げながら真剣にまねする。なりきりかくれんぼの2回目は独創性発揮、二人組で握り寿司「青い（シャツ）からしめ鯖だな」隣はネタのたまご、苦しい体制のブリッジ、ファミレスのテーブルとイス、堂々と寝ころぶおじさん……。遅れてきた6年生に、小さい子が一生懸命説明をしている姿は集団遊びならではの光景だ。

コマ回しの綱渡り「オー」の歓声があがる。左利きの年長さん、おおまくんと一緒にやると「まわった!!」。みんなが拍手喝采。お父さんが、何人にも一生懸命回し方を教えていた。「新聞キャッチして」「コマの投げ方が縦になっているよ」「コマ上手でしょ？」など子どもからスタッフを誘ったり、コツを教えたり、見せに来たりした。

子どもの声

たのしかった20・うれしかった14・おもしろかった19・げんきがでた13・きぶんがよかった11 やれてよかった19・むずかしかった14・つかれた11 ・こまはむずかしかったけどひもをつかかって、キャッチすることができたのでうれしかった。・おおまくんがおもしろかったまたやりたい。

施設関係者からの声

・遊びを通して人がつながっていく様子が見れた。・その場で出会った人同士どんどん集中して一生懸命遊んでいた。意見を言いやすい雰囲気作りや言葉掛け、テンポ良く集中がとぎれる事なく大人も夢中になって参加した。・子ども達同士教え合ったり、子どもが大人に教える姿もみられ、楽しさや嬉しさを共有することもできた。楽しい経験が次のやってみたいにつながるという。

（コーディネーター 宇野京子 買場都明）

子どもの権利条約 “基本の4つの原則”



差別の禁止 差別のないこと

すべての子どもは、子ども自身や親の人種、性別、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

子どもの最善の利益 子どもにとって最もよいこと

子どもに直接・間接に関わることが決められ、行われるときは、「子どもが一番大切にしていること・最もよいこと」を第一に、子どもと一緒に考えます。



生命、生存及び発達に対する権利 命を守られ成長できること

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた大切な力を十分にその子のペースで育めるよう、医療、教育、生活への支援などが受けられることが保障されます。



子どもの意見の尊重 意見を表明し参加できること

子どもは自分にかかわるあらゆることについて、自由に意見を表すことができ、おとなはそれを子どもの発達に応じて真剣に受けとめ、一緒に考え行動していきます。



★差別の禁止（差別のないこと）

すべての子どもは、子ども自身や親の人種、性別、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

★子どもの最善の利益（子どもにとって最もよいこと）

子どもに直接・間接に関わることが決められ、行われるときは、「子どもが一番大切にしていること・最もよいこと」を第一に、子どもと一緒に考えます。

★生命、生存及び発達に対する権利（命を守られ成長できること）

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた大切な力を十分にその子のペースで育めるよう、医療、教育、生活への支援などが受けられることが保障されます。

★子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること）

子どもは自分にかかわるあらゆることについて、自由に意見を表すことができ、おとなはそれを子どもの発達に応じて真剣に受けとめ、一緒に考え行動していきます。

■遊ぶことがなぜ大切か 遊ぶことの意義・効用■

子どもは、大人によって育てられるのとは別に、自ら育つ力を持っている。子どもの内側から生まれる「やりたい」という気持ちは、生きていく原動力となり、そこから子どもは自分の世界を構築し、生きている実感を獲得していく。遊ぶことは、身体や心、人間関係、知性、創造性など、全人的な育ちと、自分の人生を自分で手づくりする土台を築くことにつながる。 <2023年6月8日(火) 総会関連企画講演会より抜粋 講師：神林俊一>

令和7年度子どもゆめ基金助成事業

「出前で届ける子どものあそび*アート*交流体験 2025」

実績報告書

発行日：2025年12月1日(月)

発行者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉2-17-6

サンコート新千葉102号

TEL：043-301-7262 FAX：043-301-7263

E-mail：kidchiba@lily.ocn.ne.jp

この報告書の内容を無断で引用・転載することはかたくお断りいたします

 National Institution For Youth Education
公益財団法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

 体験の風を
おこそう

令和7年度子どもゆめ基金助成事業
実績報告書

 KIDS

主催・発行：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サコート新千葉 102 号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

URL <http://chiba.gekijou.org/>

※実績報告書のコピー・無断使用を禁じます。